

令和８年度 横浜市立神橋小学校 全国学力・学習状況調査の結果と分析

日頃より本校の教育活動にご理解、ご協力ありがとうございます。

令和８年度の４月に６年生が受けた全国学力・学習状況調査の結果と考察をお知らせします。

【学習の結果「平均正答率（％）」】

	国語	算数
神橋小学校	67%	65%
神奈川県（公立）	61%	58%
全国（公立）	60.9%	56.4%

国語正答率	神橋	県	全国	算数正答率	神橋	県	全国
話すこと 聞くこと	73.3	66.9	65.8	数と計算	68.4	62.6	61.1
書くこと	53.1	46.3	45.7	図形	67.3	57.0	55.3
読むこと	67.3	66.2	65.9	測定	79.0	79.7	78.1
情報の扱い方に 関する事項	55.6	53.3	52.3	変化と関係	53.9	44.2	41.1
言葉の特徴や使い 方に関する事項	73.8	65.2	66.8	データの 活用	51.5	49.4	48.6

【考察】

〈国語〉

今年度の学力テスト（国語）では、全領域で県・全国平均を上回る結果となった。

特に「話すこと・聞くこと」の数値が高く、日頃の教育活動における意見交流や対話的な学びの定着がうかがえる。相手の意図を正確に汲み取り、自分の考えを言語化する力は大きな強みと言える。

一方で課題となったのが「書くこと」の力である。正答率は53.1%と県・全国平均こそ上回っているものの、全体としては約半数の設問で失点が見られる。頭の中にある考えを整理し、根拠を添えて論理的に文章化する作業に課題があると考えられる。

〈算数〉

今年度の学力テスト（算数）では、ほとんどの領域で県・全国平均を上回る結果となった。

特に「測定」の正答率は8割近くとなり、「数と計算」「図形」も約7割と高い成果を示している。基礎的な計算技能や公式の理解、図形の性質の把握など、算数の土台となる知識や技能がしっかり定着していることがうかがえる。

一方で「データ活用」の正答率は約50%にとどまり、半数近くの児童が誤答または無解答という状況であった。県・全国平均は超えているものの、全国的に正答率が低くなりやすい領域でもあるため、本校の重要な課題として今後の指導改善に取り組んでいく必要がある。